差上申一札之事

今般東海道興津宿立人馬之儀、御印状ヲ以被仰付、惣百姓一同奉驚入候、右ハ往々多分之入用相掛リ候儀暦然ニ而奉恐入候儀ニハ御座候得共、迚も御請可仕様無之候間、御免相成候様御歎願仕度候ニ付、為惣代と貴殿相願候、併不容易義ニ付御取調之姿ニ寄、御沙汰次第村役人一同可罷出候、為其一同連印願一札仍如件、

慶応元丑年八月

甲州巨摩郡下条東割村

名主　富蔵（印）

長百姓　睦平（印）

同　栄治郎（印）

同見習　長吉（印）

百姓代　銀右衛門（印）

同　常右衛門（印）

組頭　宇右衛門（印）

（外六十八名略）

差上申一札之事

今般東海道興津宿立人馬之儀、
御印状ヲ以被仰付、惣百姓一同奉驚入候、右ハ往々多分之入用
相掛リ候儀暦然ニ而奉恐入候儀ニハ御座候得共、迚も御請可仕
様無之候間、御免相成候様御歎願仕度候ニ付、為惣代と貴殿相
願候、併不容易義ニ付御取調之姿ニ寄、御沙汰次第村役人一同
可罷出候、為其一同連印願一札仍如件、

慶応元丑年八月

甲州巨摩郡下条東割村

名主　富蔵（印）
長百姓　睦平（印）
同　栄治郎（印）
同見習　長吉（印）
百姓代　銀右衛門（印）
同　常右衛門（印）
組頭　宇右衛門（印）

（外六十八名略）